

平成 29 年度 施策評価表

施策	1305	林業の振興	施策推進担当部	産業振興部
施策の方針	森林資源を有効活用するとともに、森林の持つ公益的機能の保全に努める。また、林業経営の安定化を図る。			

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H28年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 森林経営計画作成区域数	林班	25	43 46	46	46	46	46	107.0%	100.0%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

平成28年4月に長崎南部森林組合より認定請求のあった、三浦地区(40.41.42.43.44.45.46班)の森林経営計画の認定について、森林法第11条第5項の規定により認定を行った。  
計画期間(平成28年5月1日～平成33年4月30日)

施策経費

(単位:千円)		H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込	特記事項
内訳	事業費	27,558	38,403	40,589	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	6,948	5,668	5,788	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	20,610	32,735	34,801	
	人件費	13,180	11,821	-	
	フルコスト	40,738	50,224	-	

施策の概要

130501	森林資源の活用	林業の持続的かつ健全な発展を図るため、市有林や私有林を計画的に伐採し、有効活用するとともに、新たな植林を行い、将来にわたり活用できる資源となる森林を目指します。
130502	公益的機能の保全	水源かん養、土壌保全、土砂災害防止、大気保全など、森林の持つ公益的機能を持続的に発揮させていくため、森林病虫害の駆除、山林火災や無秩序な伐採の防止などに努めます。
130503	林業経営の安定化	林業事業体の経営安定化を図るため、経営の規模拡大、機械化や経営管理の合理化など、林業経営基盤の強化を促進します。また、林地台帳を整備し、効率的な施業集約化を促進します。

**【CHECK (評価)】**

<p>施策を達成 する上での 問題点・課 題</p>	<p>市有林及び私有林について、本来森林が持つ水源涵養・山地災害の防止の目的を果たすには、計画的に森林の間伐を行う必要がある。そのためには、森林所有者の林業経営に対する意欲を向上させるために市有林・私有林への国からの補助制度の改善や私有林の上乗せ補助率を積極的に引き上げることなどを十分に検討していく必要が考えられる。又、高性能林業機械の導入により、間伐材の生産性を上げ経費のコストを抑える等を積極的に行う必要がある。</p>
--	---

**【ACTION (改善・改革)】**

<p>問題点・課 題を踏まえ た施策構成 事務事業の 改善・改革 や新規事業 についての 考え方</p>	<p>戦後の拡大造林政策により増大した市内の人工林が伐期を迎えている。しかしながら長期化する木材価格の低迷により森林所有者の林業に対する意欲は衰退しており、皆伐後の植林が行われない等により森林の荒廃を招く恐れがある。そこで従来の「植林⇒手入れ⇒伐採⇒植林」という林業サイクルを見直す必要がある。          今後はほとんどの分収林が今後20年程で契約満期を迎えるために個々の森林の調査を行い、その特性にあった整備方針を立てなければなりません。又、民有林については森林所有者の所在が不明な森林や林地の境界が不明確な森林が増加し、森林整備に支障を来す恐れが生じないように林地台帳の作成を行う。</p>
--	---

**平成30年度新規事業**

	事業名 (仮称)	担当課	H30年度見込	
			事業費	対象・事業概要など
1				
2				
3				
4				
5				
			0	

**【評価調整委員会意見】**

1	施策推進担当部意見のとおり	
<<特記事項>>		

**【最終評価 (都市経営戦略会議)】**

1	評価調整委員会意見のとおり	
<<特記事項>>		